

# 「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2010年8月7日(土) 10時~15時00分 晴れ
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員/7名、人博・黒田先生

- はじめに 10時10分~10時20分 会議室で連絡報告、活動内容の説明
  - ・連絡事項  
人博発行の生物多様性活動団体紹介冊子に「エコウイングあかし・自然グループ」で掲載「ひょうご多様性ひろば」にも同様の紹介記事を載せる予定
  - ・今日の活動について  
黒田先生による講義のあと、新しい箇所での植生調査を実施

- 午前 10時20分~11時20分 黒田先生の講義



「他地域での植生調査分析データをもとに  
そこから何が見えてくるのか、またそのデータを  
実際の活動にどう生かしていくのか？」

- ・萌芽林における常緑植物の植被率と種多様性・種組成との関係
- ・群落構造および種数の管理形態による差異  
→金ヶ崎公園の場合、継続性のある非伝統的管理  
この場合、明らかに夏緑多年草の出現種数は伝統的管理より  
やや劣るが放置や単発的管理と比べ出現種数が多い。  
また林床の落葉採取をした場合、更に効果的である。

このように、多くの場所での植生調査や継続的調査をすることにより整備方法のヒントも見つか  
り科学的裏づけに基づいた整備活動が展開できる。

- 午前 11時20分~12時30分 植生調査実施

当初管理棟裏のコバノミツバツツジ群生地を考えていたが  
現場が狭く、急で谷もあり段差が多いので取り止めた。

そこで、この公園の特徴的な放置林(同じ高さのカクレミノが繁茂)を  
行うことにした。

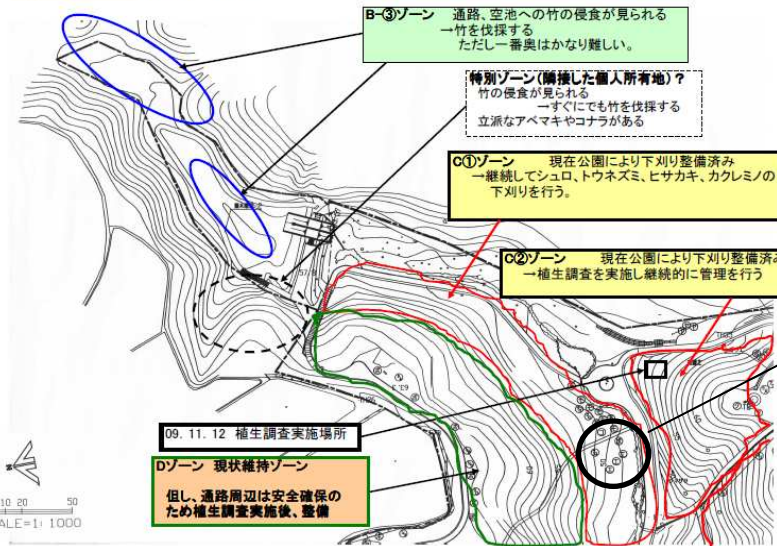


登り階段左:整備済み地区 登り階段右奥:未整備地区



- B③ゾーン 景観・生物多様性保全
- C①②③ゾーン 景観・癒し、自然体験
- Dゾーン 生物多様性保全

- 侵食してきている竹をすぐに伐採するのが望ましい
- 継続的下刈りで維持
- 現状維持



B-③ゾーン 通路、空池への竹の侵食が見られる  
→ 竹を伐採する  
ただし一番奥はかなり難しい。

特別ゾーン(隣接した個人所有地)?  
竹の侵食が見られる  
→ すぐにも竹を伐採する  
立派なアベマキやコナラがある

C①ゾーン 現在公園により下刈り整備済み  
→ 継続してシュロ、トウネズミ、ヒサカキ、カクレミノの  
下刈りを行う。

C②ゾーン 現在公園により下刈り整備済み  
→ 植生調査を実施し継続的に管理を行う

09. 11. 12 植生調査実施場所

Dゾーン 現状維持ゾーン  
但し、通路周辺は安全確保の  
ため植生調査実施後、整備

上記植生調査箇所



樹高測定 10m場所決め 種調査、被度調査  
結果は所定の用紙に記入、保管  
26種確認 S1(2.5m~8m)カクレミノ84本

- 午後 13時15分~14時30分 公園内主要な整備地区や放置地区を視察  
竹林再生ゾーンとその周辺 両サイドの竹侵食地域  
奥の南上に上がる階段両側の空き地  
一箇所、ハリエンジュ(ニセアカシア)の高木2本とその若木が増えてい...要注意外来生物
- 14時30分~15時10分 全般について質疑応答  
植栽と生物多様性について 園芸種と生物多様性について
- 今後の活動計画の説明 次回9月4日 木の名札作り、取り付け

8月3日

シャシャンボの花と実

7月15日

秋には甘酸っぱい実が出来ます

